

“消費税”ネットニュース

第 77 号 2019.11.25

発行 消費税率引き上げをやめ
させるネットワーク宮城

事務局 宮城県生協連

TEL : 022-276-5162

FAX : 022-276-5160

E-mail:sn.m31660hk@todock.coop

●9月12日（木）消費税ネットは、「暮らしと家計を圧迫し復興を妨げる、消費税率引き上げ中止を求める」要望書を、宮城県選出国會議員へ提出しました。

消費税率の引き上げが10月に予定されています。社会保険料・医療費の自己負担の割合は増えるばかりで、賃金が上がり手取り収入が増えないなか社会保障の給付は後退しており、実質賃金の落ち込み、物価の上昇で家計消費は低迷し、年金も実質削られ、消費不況が続いています。

過去2回、消費税率の引き上げが行われてきましたが、今回の増税が実施されれば、より深刻な消費への悪影響が懸念されます。「いま、消費税を上げる時なのか」といった疑問の声が大きく広がっています。

消費者・事業者の実情を踏まえ、10月からの消費税率10%への引き上げの中止を求め、9月12日（木）、「暮らしと家計を圧迫し復興を妨げる、消費税率引き上げ中止を求める要望書」を、宮城県選出国會議員へ提出しました。（後掲）

国民の暮らしと日本経済の立て直しのためには、消費税増税を中止し、消費税に頼らない、国民の暮らし再建を中心とした経済・財政政策への転換を要望しました。

●9月12日（木）「10%ストップ!ネット」主催の『国会開き増税中止を9.12国会内集会』に参加しました。

9月12日（木）衆議院第2議員会館・多目的会議室において、「10%ストップ!ネット」主催の『国会開き増税中止を9.12国会内集会』が開催され、43万2874人分（累計108万6001人分）の増税中止国会請願署名を、日本共産党、立憲民主党、国民民主党の国會議員に手渡し、「国会を直ちに開いて増税中止を」と訴えました。各地からの参加者で会場は満杯となり、議員会館前でも緊急の行動が開かれました。

消費税ネットから、事務局団体である宮城県生協連の加藤房子常務理事と宮商連事務局員の三塚葵さんが参加しました。



各地から届いた署名

●9月19日（木）消費税ネットは、「暮らしと家計を圧迫し復興を妨げる、消費税率引き上げに反対です」の意見表明を行いました。

このまま税率引き上げが実施されれば、地域経済をさらに疲弊させ、中小企業や小規模事業者の営業を脅かし、雇用不安を招くなど国民生活への影響が懸念されます。金融資産を持たない世帯が全世帯の3割を超えるなど、格差と貧困は拡大する一方です。

政府は「(消費税増税で)景気が悪化すれば追加の経済対策を行う」などとしていますが、さらに税金を投入するのであれば、消費税を引き上げることの意義が問われます。

景気・暮らし・生業に打撃を与える「10月からの消費税10%への引き上げ」は中止すべきです。

このようなことから9月19日（木）、「暮らしと家計を圧迫し復興を妨げる、消費税率引き上げに反対です」の意見表明を行いました。（後掲）